

～フリースーク(情報交換)～

Aグループ

東地区、神山地区、国高地区、大虫地区、王子保地区、岡本地区
進行：市民自治推進課佐々木副課長 生涯学習課小林主幹 記録：岡田主事

各地区事業内容紹介と課題について

(大虫地区)

児童健全育成事業（PTAとの共催中心）

青年の地域参加を促す事業（青年組織の復活を目指す）

『成人のつどい』を実施 青年組織の芽生え

成人のつどいに集まる目的にと考え、平成19年より、『6年生のタイムカプセル事業』開始（成人のつどいの時に開封予定）

卒業式の予行時に在校生の前で、あえて心に残るよう厳かに行う。

『中学3年生を送る会』を実施

昨年の青少年部会研修で北日野地区の事例を聞き、成人式までの間の事業として良いかと思い実施した。（成人のつどいには来いよ等の声かけも行った）

<課題>

PTA・小学校を巻き込んでの事業は連絡が取りやすいが、その上の子どもは難しい。青少年育成推進員として町内推薦、団体推薦で2年任期で40名出ているが、参加率が悪く、出席者が固定化してくる。

(東地区)

地区事業の三つのフェスタ（菜の花・納涼・冬遊）に学校の協力も得て参加している。

毎年、青少年健全育成標語の募集・表彰

子ども達に対しても、『こんな大人になりたい』等の作文を募集。冊子にまとめている。

『成人のつどい』実施、これをきっかけに公民館に来て欲しい。東地区の良さを再確認してもらうために、地区紹介のDVDをプレゼントした。

<課題>

防災訓練に、子どもや親世代が参加せず、年寄りや自警隊など役員が目立つ。家庭教育が出来ていないのか、学校にも言ったのですが、命の大切さや、訓練の大事さを伝えたい。町内での対話集会も地域ふれあいの場として必要。

(岡本地区)

四つの柱として 合宿通学（ハツ杉千年の森） 自分達で考えて遊ぶフリータイムを入れた

子育てサロン 子育ての悩み相談、救急対応学習など

見守り活動 交通安全、見守り活動による不審者に対する抑止力

青少年育成推進会議 講演会、6年生の三里山登山

< 課題 >

青年層の事業が無いので、他地区の事業を参考にしたい。

(神山地区)

子どもの地域社会参加の足がかりと思い事業を展開しています。

たとえば、三世代交流としてジャンボ恵方巻き作りを実施しているが、自治振興会としては、人が多く集まれば良しみたいなところがあるのが気になる。

10年近く前に、西子連のナイトウォークを神山に持ち込んだのですが、参加した子ども達がスタッフになって戻ってくるという話を聞きました。

「成人のつどい」ですが、一度きりの事業にならぬよう、次のステップにつなげる方法も教えて欲しい。

(国高地区)

独自の事業は少なく、自治振興や地区の行事の手伝いが多い。(合宿通学、スキー、もちつき等) 独自事業として、見守り隊活動を実施している。交通安全茶屋では、武生高校と三中生徒の通学路で、飲み物を配って交通安全を呼びかけている。

< 課題 >

数年前から、青少年部長は、PTA役員が充て職でなっており、幼稚園保育園、小学校、中学校と一年交代の回り順でしている為、活動に深く関わらず一貫性がない。この体制の見直しを検討している。

(王子保地区)

あいさつ運動、青少年健全育成を実施。

王子保駅のイルミネーションデザインを募集して、飾りつけ、点灯式を実施。

子ども達にも絵を募集して、優秀作品をライトアップ展示している。

< 課題 >

部会役員が、子ども関係(PTA・子ども会など)の充て職が多く、本職の行事も多い為なかなか行事に参加できない。役員構成を見直すべきかとも思う。

成人のつどいについて

起爆剤としたいが、次のアクションは？

(生涯学習課 小林)

青年をどう地域に巻き込むかが課題ですが、小中学校までの子ども達は、子ども会・PTA・親子などにより参加させやすい。その小さい頃からの地域行事の参加で培われるものもある。確かに一回で青年を巻き込むのは難しいですが、長いスパンで考えて、また戻ってくる事を考えての活動と思ってほしい。声かけや小さな積み重ねが大事かと

思う。たとえば、タイムカプセル事業のように、次の同窓会の日を決めたり、記念日に集まるなど、青年たちが戻ってくる仕掛けを地区で考えてほしい。

(神山地区)

決して、「成人のつどい」の否定ではありません。自分も青年時代には、地域参加しなかったが、今となっては足しげく公民館に通っている。

(生涯学習課 小林)

初めから来ないと決めつけず、何かを投じていかなければ反応は無い。難しいと決めず、出来る事から踏み込んで欲しい。

(神山地区)

自分が生まれ育ち老いていく地区だから、足が向いて行くのかなと思う。

(大虫地区)

次の策は無いが、一人二人引っかかればいいと思う。

大虫地区では、公民館の青年教室で納涼祭に屋台を出している。ちょうど公民館主事の息子さんがいて中心でやっている。まだグループが出来るまでには至っていないが、種をいくつも蒔けば、いつか咲く。蒔かなければ咲かない。

今の子ども達を見ていると、昔は子ども会中心の行事があったが、スポーツ少年団が忙しいようで、地域を感じる機会が少ないかと思う。大虫では、地区を回ってクイズや宝探しをしながら、自分の住んでる地区はこんな所良い所という、地元を知って感じてもらう事業をしている。

(東地区)

東地区では、子ども達に「地域のいい所」募集(200字)を実施している。

(岡本地区)

自分も忙しいとか面倒くさいなどを理由に若い頃は地域参加しなかったが、祭りだけは出ていた。地域の祭りっていうのは、いい機会だと思う。

(東地区)

越前市には、伝統的な大きな祭りというのが無い。みんなで盛り上がる祭りがあるとよい。

Bグループ

東地区、神山地区、吉野地区、王子保地区、栗田部（花筐）地区、南中山地区
生涯学習課森参事
進行・記録：市民自治推進課山口参事

事業・イベントにどのようにして人を呼び込むといいか？

（東地区）

ドーナツ化現象で子供の数は少なくなってきているが、少人数を基本にして大人たちが見守るとい形で多くの人が集まってきている。合宿通学でも、食事作りも子どもを中心に、グループごとに挑戦している。仁愛大学の学生の協力もあり、中心となって子供たちと交流し決めていき、それを大人たちが見守るとい形でかなりの成果を上げているのではないかと考えています。

計画の中心は学生が中心となって決めているのか。

どうやって仁愛大学に投げかけているのか。

（東地区）

企画は学生で決めて、行事は自治振興会が中心になってやっています。

どういう形で仁愛大学の方が来たのかはわかりませんが、ボランティアという形で始まって後輩に受け継ぐという形で、卒業すると後輩がリーダーになって...という流れで、その子供たちが声掛けして集めてくれているというところもあります。

対象の学年は。どこに宿泊するのか。

（東地区）

5年生全員対象。少人数で1～2クラスという状況のため強制ではないが全員参加している。公民館の和室等を利用して、男女に分かれて大学生と一緒に泊まったり大人が交代で見守りに行った。お風呂は湯楽里で、2泊は公民館、1泊は鯖江青年の家に泊まり、帰るとそうめん流しなどを実施。

子供たちに変化はみられるか。

（東地区）

行動に関しても身支度の面や家族が恋しくなる子、暑い時期のため「暑い！」と言う子や静かにしている子などいろいろな様子がうかがえた。自立して集団の中での生活の中いろいろな状態が見えてよかったと思う。

（吉野地区）

大人たちは見守っている形で、子供たちを遊ばせるのは若い世代が企画を立て大人は手伝

うという形。子供たちもお兄ちゃんお姉ちゃんということで懐いている。

企画も自治振興会の青少年部の方が入ってということではなく、子供たちで企画しているのか。

(吉野地区)

少年リーダーをやっていた子が社会人になり、サークルを作ってやっている子が手伝ってくれている。仲のいい子たちだけが来るのかと思っていたが、皆集まってきている。

(市民自治推進課 山口)

以前は公民館の事業の中でやっていましたが、それだけではスタッフや金銭面の問題もあり自治振興会でやっているところが多いです。合宿通学ではなく、スキー教室をやっている地区もあります。話を聞くと子供同士で遊び、親は見守るという形のようにです。

(東地区)

親は参加せずに子供が学校に行っている間に洗濯をしてもらうとかだけで、子供が関係している親は参加しない。

(生涯学習課 森)

子供が地域に参加するよいきっかけ。そういったことがないとどこの地区の子かといったこともわかりません。

(粟田部地区)

花筐はやめた口です。旧今立では教育委員会主体で各地区が持ち回りでやったが、自治振興会が出来て最初の年だけやったが、私は仕事を1週間休んだという形で、続けてくれる人も育たない。

(生涯学習課 森)

すごくメニューも凝っているのがそれが大変ということはありませんか。

余所の地区を見ても朝早くから来て、自分の家でも出ないというような朝食が並んでいたりするという話も聞いたことがありますので、そこまでになると次に受けようか...と言う気にはならないのだろうと。鯖江青年の家を使っているところもあります。

(市民自治推進課 山口)

大虫地区などがあります。食事については向こうで用意してくれますし、子供と遊んだり教室や勉強会などを大人が演出していくといった形で、仁愛大学の学生を入れてやっている地区もあります。

毎日出ているというより、皆が調整して出れるときだけ出るというようにしているので通しでとなると辛いと思います。今立の岡本地区だと八つ杉を使っていたのではないかと思います。やっている段階で保護者など役員は強制になるのでしょうか。スタッフの問題をどうするかということだと思ったのですが。

(吉野地区)

青年団の仲間を集めて、柳荘を利用したが、宿題を見る親もいるが、子供たちを遊ばせる

ことでは高専の生徒たちの若い子たちが遊ばせたりしていたが大変だった。

(粟田部地区)

保護者へのアンケートでは次回以降も継続してくださいとありますが、スタッフとして協力してくれますかという問いには NO だった。そうなると固定メンバーのおばちゃんたちになってしまい厳しい。岡本地区ではボーイスカウトのウルトラプロがいて熱心にやってくれるので、そういった人が核になって周りがついていっている。

(生涯学習課 森)

子供を遊ばせる企画には市子連のジュニアリーダークラブもあります。そこに来てほしいという地区もあり、子供が子供を遊ばせるといった企画などがあれば生涯学習課に言っていただくと派遣することも出来ます。

(市民自治推進課 山口)

スタッフを集めるとなると各部の部長が中心になるのでしょうか。

(東地区)

自治振興会の方は熱心ですので、イベントをやっていますが人も多く集まっている。

成人式について

(吉野地区)

去年は成人のクラスが 2 クラスだったのですが、タイムカプセルがメインでしたが皆で話をしながら食事という形。担任の先生を呼ぶということで交流にもなっている。

記念式典は自治振興会ですが、タイムカプセルは担任の先生がやりました。

公民館の主事さんも実行委員に入ってもらい成人の子に連絡を取ってくれていた。

(市民自治推進課 山口)

各地区でタイムカプセルは自治振興会の中で増えています。トランクーツを買って地区によって埋める地区と振興会の事務所に置いておく地区があります。

北新庄では埋めたようですが、工事をしたので業者がどこに...ということを心配していたようです。

二十歳の時に開封することで人も集まり話も盛り上がるということで、スタッフはそれほどいなくてもやっていけるという話は聞いています。

(粟田部地区)

吉野さんでは成人式式典の会場からバスで拉致すると聞いたが皆参加するのでしょうか。

(吉野地区)

成人式の実行委員の方から皆に話してくれということでの告知になります。一中が 6 時半から集まるというようになっているようで、4 時から 2 時間でそのまま行けばいいというところで、去年はあまりにもたくさん来たのでびっくりした。移動は、晴れ着を着ているからバスにしないといけないという話になりました。

(粟田部地区)

今考えているのが、小学校へ来てもらって当時の教室に入ってもらい担任の先生をお呼びしたり、昔の写真をスライドショーにしたり、あとはお茶とお菓子で騒いでもらう形かなと考えている。

(生涯学習課 森)

今年は東公民館に行きましたが、飲み物とケーキがあっただけでしたが温かい雰囲気、取り立ててすごい料理を出さないといけないということはないと思います。

私も東地区ではありませんが、畏まっている様子もなくすんなり入っていったのでいいなと感じました。地域の方もいましたが、遠巻きに温かい目で見ているという感じでした。

(市民自治推進課 山口)

何処の振興会でも同じですが振興会のスタッフは50代は入ってくるが30代~40代が入ってこない。また、小学校のイベントは上手くいくがすこし上の年代(中・高校生)になるとなかなかという部分があります。

事業の参加者が企画に加わりそのまま年を取っていく感じで、東地区のように継続できるといい。

(粟田部地区)

ちょうど二十歳くらいの時は地域に頭はなく、外に向かっていたと思う。成人式で里帰りしてもらいそこから先粟田部のことを気にかけてもらうきっかけにならないものかと思う。

(王子保地区)

小学校の子供は地区の祭りに参加してくれるが、中学校に入ると地域の繋がりがなくなってしまうということをよく聞く。中学生を取り込むため、夏祭りの模擬店を中学生たちが自分で企画し模擬店をやるという地区がありましたが、周囲の大人たちは金銭が絡む部分を見守り模擬店は中学生たちという企画だったのでそれも手かなと思う。

(神山地区)

地区の納涼祭ではスーパーボールすくいを中学生にやらせて、青少年育成推進員はお金の管理をしたが、子供の相手を中学生がするというので楽しみにやっている。

(市民自治推進課 山口)

子供に企画させるということがよいと思う。南越中学校は4地区一つですが、今立地区一つの行事も何かされるのでしょうか。万葉中の北日野地区では中学3年生を送る会をやっていますが。

(東地区)

開かれた中学校ということで小学校と連携を深めたいという気持ちはありますが、東地区は少人数になり一中、三中それぞれとの連携のパイプを深くしたいというのが実情です。

(生涯学習課 森)

青少年育成市民会議では、各地区自治振興会に6万円の助成金を安全安心に関わることに使っていただきたいということでお渡ししています。

合宿通学などで地域の方と顔見知りになった安全安心な地区とも言えるので地区の人と顔見知りになるチャンスとして使った費用として県へ報告はしています。

襷やプレートなどの啓発グッズも地区に希望に応じて渡していますので、青少年育成部の方で活用していただきたい。

こちらから作ったものは強制的に主事さんに渡していましたが、青少年育成部の方に必要なものを確認し、生涯学習課へ取りに来てもらうということでお渡ししました。

来年もそういった形で啓発グッズをお渡ししたいと思いますが、それについてご意見と啓発グッズの希望などがあればご意見いただければと思います。

県より子供見守り活動中という腕章をもらえるようですので、市民会議の方では、子供見守り活動をしていただける方の保険料も市と県で負担していますので、そういった方に腕章をお渡ししようかと考えています。

(市民自治推進課 山口)

出来るだけ希望に沿ったものの方がいいと思いますので、地区へ持ち帰っていただいて希望があれば言っていただきたいと思います。

安全安心について

(王子保地区)

各地区のセーフティマップの作成は毎年更新しているのかどうか。

3年前にマップをセーフティマップを作りましたがそのままだったため、子供会の父兄の意見で今年更新をした方がいいのではないかということになったので。

(市民自治推進課 山口)

各地区へ調査を希望するものがあれば、私もしくは連合会、事務局長を通じてお伝えいただければ調査し各地区へ報告も出来ますので、セーフティマップについては振興会へ調査させていただきます。

Cグループ

神山地区、大虫地区、北日野地区、服間地区
進行：児童福祉課家庭児童相談室谷川室長 記録：自治連合会芹川

自己紹介

意見交換

(神山地区)

地区納涼祭を8月の初めに、昼の部として子供向けの催し物を作り、夜の部の夏祭りという流れでやっている。中学と高校のボランティアの作文がありボランティアの場となっていたが、夜間外出などの規制、またボランティア作文もなくなったため余波が来ている。

(服間地区)

中学生は9時以降はダメといった指導はある。PTAでも補導に廻ったが、一人にいる子などへの注意喚起にしている。

地域のことに関わるといことで、自治振興会の事業に中学生が参加するよう企画したこともあるが、学校側の協力がないとなかなか成功しない。中学生で手を挙げて出てくる子供はいない。

(神山地区)

我々がサポート役になり、リーダー的なことをやらせて、ボランティアで子供たちを育てるというやり方で、基礎作りだと思う。そこで経験することが自信になり自立に繋がると思う。

(服間地区)

学校がしっかり地区を向いてくれないと無理。小学校はがっつりと入るので問題はないが中学生になると無理。

(神山地区)

ボランティアも何かあれば責任問題になるので、2人なら2~3人、5人であれば10人までという形で注意はしているが、怪我の問題もある。

(服間地区)

企画の段階から入ってもらわないといきなりでは事細かに段取りしておかないと難しい。一事業をあてがい、企画の段階から来てもらい手伝ってもらったが、それでも半分以上はこちらでやる形だった。

(神山地区)

合宿通学も同じでいろいろなことは(事前に)やっているのもとまってやれるが、いきなりグループに分かれて~では混乱する。

ボランティアでリーダーを育てる云々より、我々が子供を育てるにはどうしていくか、どうやって見守っていくかということの方がいい。

(家庭児童相談室 谷川)

青少年部会は青少年も対象ということだと思うが、地区の次のリーダーとするため、赤ちゃんが生まれた頃からの地区との関わりも含めて考えていただけたらと思います。

服間では赤ちゃんが生まれた時の事業として何をやっているのでしたか。

(服間)

品物も持っていきますが、昔から服間では「のびのび服間っ子」がありました。生まれた子供にふくまっ子としての番号を付けて公民館に写真を飾って保存しています。それをおじいちゃんおばあちゃんも見に来る。大きくなった子供たちも見に来る。そうやって地域に出て来てくれるということで、ただお金をあげるだけではなくきちんと保護者の方に幼保一体化で育てやすい環境であること、学校も少数制ではあるが学校側もしっかり見てくれているということなども話し、行事には足を運んでほしいとお願いもしている。

(北日野地区)

二十歳の集いの事業は毎年やっていますし、納涼祭にはポニーなど動物を呼んで遊んだりしています。

(服間地区)

皆、自分たちの次のリーダーを探すことに四苦八苦している。

(神山地区)

育てるとかではなく作らないといけない。良い人がいたら2～3年かけて育てていかないと役だけを持っていても出来ない。そういったやり方をしない限り続かないと思う。

(大虫地区)

PTA や子供会の役員、一般公募で自治振興会へ入ってもらっている。

子供会かるた大会もやっていたが、子供の面倒を見る人がいなくなっている。

ラジオ体操も回数を増やそうということと地区民の関わりとして町内にも呼びかけをし、中学生、高齢者が一緒にラジオ体操をやっている町内もある。顔を合わせることで見守りなどにも繋がる。合宿通学も地域ボランティアの協力もあり4年生対象でやっている。

(神山地区)

場所の問題もあり他市などでやるとおばあちゃんおじいちゃんが手伝いに来れないが、公民館に通わせると手伝いに来てくれるという部分がある。

(大虫地区)

大虫の場合はクラスも混ぜるため子供同士の繋がりも出来る。また地域の人との繋がり、学生ボランティアも入りその繋がりも出来る。学生が中心に面倒を見てもらい、地域ボランティアは補佐的な形で支援してもらっている。

子供にとっても親にとってもいいところが見えてきている部分がある。

学校でも5年生になった時にやりやすくなったという声がある。挨拶運動も子供会の旗持ちの時に襷掛けで子供への声掛けをしてもらっている。中には親が挨拶をしないところもありそこが子供会としてどうするかが課題。PTAからも呼びかけを行っている。

文化祭や体育祭では青少年育成部員が襷を付けて声掛けをし、啓発グッズをあわせて配布している。

子供の子育てでは不登校問題もあり、FBCの矢野さんを中心に座談会形式で講演会をやったり、中学のスクールカウンセラーの話を聞いてもらっている。ふるさとふれあい体験事業ではコマやお手玉など昔遊びを理解してもらうためやっているがシニアクラブの方に協力してもらっている。

昔は成人を迎える人の名簿を出してもらえたが、出してもらえないため成人式事業が上手くいかなかった。タイプカプセル事業ということで8年後の二十歳の成人式の時をめぐって公民館に集ってもらい開封する。

(家庭児童相談室 谷川)

その時の名簿はこちらが管理しているということですね。

(大虫地区)

自治振興会とか青少年を対象にやることにも情報を公開してもらえない。しっかりした団体がやっているのに出せないということで活動がしづらく弊害になっている。

(家庭児童相談室 谷川)

地域の情報として持ってもらいやっていただかないとやっていけない状況にはなっています。

(神山地区)

子供会など地域で把握しているところはないのでしょうか。自分たちの足で聞いていか、管理していくなどしないと出来ない。

(服間地区)

うちではアルバムをもらってアルバムからです。

(大虫地区)

中学生対象の事業を北日野ではやっていると聞き、大虫でも去年から取り組んでいる。

(北日野地区)

中学3年生の時に皆で集まって話をしようという会をやっている。

(神山地区)

土日に事業をやっても、保護者がスポ少・塾が優先で参加者が集まらない。

(大虫地区)

子供会、PTAでもやりにくいという声がある。キャンプも昔は子供にさせて親が補佐だったが今は違う。

(神山地区)

怪我の問題もある。いかに怪我をさせないかということの上で成り立つので難しい。

(大虫地区)

子供への関わりは青少年育成部だけではない。環境、体協すべて関係してくること。

(家庭児童相談室 谷川)

子ども条例に関することは、青少年育成部の人だけではなく地区全部の人が子供の力をつけるための関わりも持っていないといけないということだと思います。

(神山地区)

体育祭でPTAがバザー券を売るが、子供がいないところも買ってくれる。資源回収も出してくれる。次の世代に・・・ということで協力してくれる。そういった気持ちの延長上だと思う。

(家庭児童相談室 谷川)

地区や家が良かったという思いがあるから戻ってくるということはあるのではないかと思います。

(神山地区)

資源回収でも皆が出してくれる。役をやることで小学校や子供会を守ってくれているんだということを実感する。1回でも2回でも役をやるのが大事。

(大虫地区)

社会奉仕も昔は子供も出てきたが、今はあまりいない。今は親も全く出てこない。

(神山地区)

青年団がなくなり池の上町では壮年会を作ったが、市へは入らず独自でやっている。市へ入ることで役が増えつらくなってくる。いかに存続するかが大事。

(北日野地区)

小学生の小さい子供のサポートをいい歳の人がやっている。何かに入ってしまうとその他もなんでもやってしまうような人達の中にはしんどそうに見える人がいる。

見ている健全な姿ではない気がする。

(大虫地区)

“うちの地区はこれを重点的にする”ということなら芽生えてくるのかとは思いますが、重点項目をやり過ぎていると思う。

(服間地区)

学校の校長先生でも変わる。学校がこちらを向いてくれると上手くいくと思う。

(家庭児童相談室 谷川)

子ども条例の中の学校などの役割の中では、“地域に開かれた学校として地域の特色を生かした活動をします”となっています。

(服間地区)

地区によってやり方はあると思うが、話をしてもらい考えてほしい。

(大虫地区)

地域あつての学校。地域の子供たちをいかに明るく素直な子に育てようと思うと地域に目を向け環境をよくしていく。地域と関わる中で育てていくと子供も親も地域が大切になっていくと思う。

(家庭児童相談室 谷川)

子供が力をつけていくには学校だけや家庭だけではなく、しっかり育てられている子はいろいろな場所でさまざまな経験しているが、経験不足な子供の場合は親も殻に閉じこもっている。子供も閉じ込めてしまうところがあり力がついていかない。

(神山地区)

昔は外で遊んで、悪いことをすれば地域の人が叱ってくれたがそれがなくなってきている。だからこういった条例を作ってやらざるを得ない状況になってきている。

(大虫地区)

縦の繋がりがなくなってきている。下手をすれば横の繋がりがなくなってきている。

自分の思うとおりにならないと面白くないということが増えてきたために虐待してしまう。思い通りにならないこともあるという経験をしてきていない。

課題

- ・活動のサポートをする大人が減ってきている。サポートする年代も高齢化し、特に活動に熱心な人に負担が集中している。
- ・次のリーダー（青少年育成部）の育成の問題。
- ・学校の協力体制は不可欠（校長先生によって対応が変わる）
- ・自治振興会や青少年育成関連事業といったしっかりした団体（活動）にもかかわらず、成人式対象者の名簿を出してもらえなくなったことで活動の弊害となっている部分がある。
- ・土日にイベントを企画しても、塾やスポ少優先のため参加者が集まらない。青少年育成部に限らず、PTA、学校行事もやりにくくなっている。